

市立の小学校全教室へのエアコン設置を求める決議

近年、都市化の進行や地球温暖化の影響によって、夏季の暑さが非常に厳しくなっており、全国的に熱中症による死者が多数でるほど、今夏も各地で35℃を越える猛暑日が長く続く厳しい状況にある。

文部科学省の発表によると、全国の公立小中学校の教室におけるエアコン設置率は41.7%にとどまっており、エアコンの普及がまだまだ十分ではなく未設置の学校が多い。

この猛暑により、熱中症となった児童が緊急搬送されるケースが相次ぐなか、熱中症で亡くなるという大変痛ましい事故も起きており、このような事態が二度と起こらないように早急に取り組んでいかねばならないと痛感するものである。

泉南市においては、小学校の教室へのエアコンがほぼ未設置であり、小学校の全教室へのエアコンの設置は、猛暑への対応、対策として喫緊の課題であり、急を要するものである。また、市内の小学校は災害時の避難所に指定されており、昨今の頻発する自然災害に対してこれまで以上に防災拠点として、高齢者や乳幼児の熱中症予防のためにエアコンの設置が必要とされている。

このような状況を勘案し、子どもたちの心身の健康を守り、学習に集中できる学習環境を整えるために、小学校の全教室へのエアコン設置を早期に実施するよう求めるものである。

以上、決議する。

平成30年9月28日

泉南市議会

採決結果

平成30年9月28日 原案可決